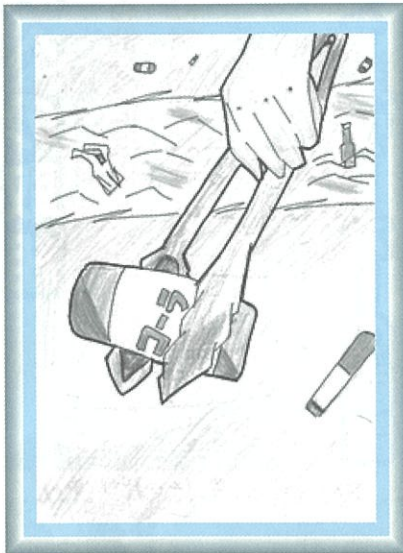


## 特集 地域課題解決への取組

### ふくしのイラスト応募作品

ふくしながの79号ふくしのイラスト募集では、多くの皆様からすてきなイラストを頂きました。今回はその中から3作品をご紹介します。



安茂里地区 米森有香 さん(13)

安茂里地区 沖島佑奈 さん(13)

若槻地区 ひまわり さん(44)

..... たくさんのご応募ありがとうございました。 .....

### 目次

- ◆特集 地域課題解決への取組.....2~4  
コミュニティソーシャルワーカーの配置  
アウトリーチ等の相談支援について  
『ゴミ出しから考える地域の支えあい』
- ◆報告.....5~6  
長野市生活支援・地域ささえあいセンターのあゆみ  
村上市での災害ボランティア活動の報告
- ◆長野市社協の相談窓口.....7
- ◆その他.....8  
フードドライブへのご協力をお願い  
ふくしのイラスト募集について  
「賛助会員」募集のお知らせ

### ありがとうございます

令和4年8月から令和4年12月までにご寄付いただいた方々をご紹介します。

いただいた寄付金品は、長野市の社会福祉の向上や本会の事業のために、活用させていただきます。

NTT 労組退職者の会 長野地区協議会 様

「小さな親切」運動 長野支部 様

一般社団法人 MDRT 日本会 様

宗教法人 真如苑 様

ながの農業協同組合 西山支所 様

拝野忠昭 様

長野市ママさんバレーボール連盟 様

匿名 様

(順不同)



### 編集・発行

社会福祉法人  
長野市社会福祉協議会

〒380-0813 長野市大字鶴賀緑町1714-5  
TEL : 225-1234

URL : <https://www.csw-naganocity.or.jp/>



「ふくしながの」は  
共同募金からの配分金で発行  
しています。

# 特集

## 地域課題解決への取組

私たちの普段生活している地域には様々な課題があります。本号では地域の課題に対する本会の取組についてご紹介します。

### コミュニティソーシャルワーカーの配置

定年延長や共働き世帯の増加による地域福祉の担い手不足や新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の活動が停滞して住民同士のつながりが薄れる中、地区で起きている課題を、その地区だけで解決することが困難な状況が起きています。

本会では、地域福祉を推進する中核的な団体として実施してきた取組をより強化し地域の福祉課題に取り組むため、コミュニティソーシャルワークを推進する職員（コミュニティソーシャルワーカー）以下CSW）を、令和4年度から地域福祉課に2名配置しています。

コミュニティソーシャルワーカーとは、社会福祉活動を推進す

る中で、地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する「個別支援」と、そうした人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の「地域支援」をチームアプローチによって統合的に展開・実践する支援の方法であり、その中心になるのがCSWです。



#### ○福祉の相談に応じます

福祉のサービスや支援についての疑問や質問、相談に応じて担当部門と連携し、課題や問題の解決のために支援します。

○福祉のネットワークづくりをすすめます

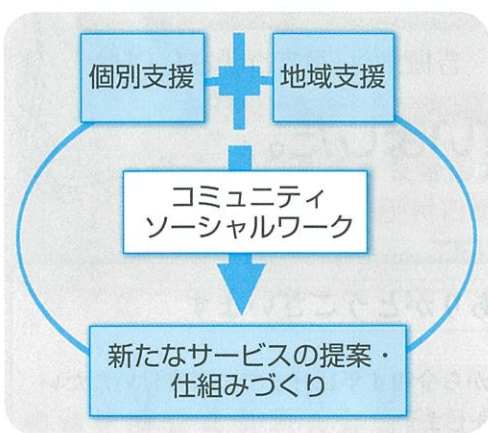
福祉のサービスや支援がスムーズに行われるよう、小地域ネットワーク活動や関係機関とのネットワークをつくりまします。

○福祉のまちづくりを推進します

地域支援を行っている職員と共に行政とも協力しながら、地域で支えあい、誰もが住みやすい「福祉のまちづくり」に向けた取組を進めます。

○新たなサービスの提案・仕組みづくりをします

個々の支援から見えてきた生活課題等の問題を、地域住民や各種専門職、関係機関と共有し、課題解決や予防のための新たなサービスの提案や仕組みづくりを行います。



### 令和4年度の取組内容

令和4年度の取組内容として、市関係課の会議や地域福祉ワーカー連絡調整会議へ出席し、地区訪問を充実させ、新たに地域福祉ネットワーク会議を開催しました。

#### ○地区訪問による意見交換

本会では32地区の住民自治協議会に地域支援をしています。担当職員だけでは対応が困難な課題等に対し、CSWへ相談し、共に地域への支援をしています。

そして地域への支援の一環として27地区の住民自治協議会へ市と本会による地区訪問を行い、住民自治協議会の役員の皆様と地区の状況等について意見交換をさせて頂きました。

#### ○地域福祉ネットワーク会議

地域福祉ワーカーと社会福祉法人のつながりづくりとして地域福祉ネットワーク会議を行政と共に開催し、役割や活動内容等の情報・資源や困りごと（課題）の共有を図りました。

# アウトリーチ等の相談支援について

## アウトリーチ支援の強化

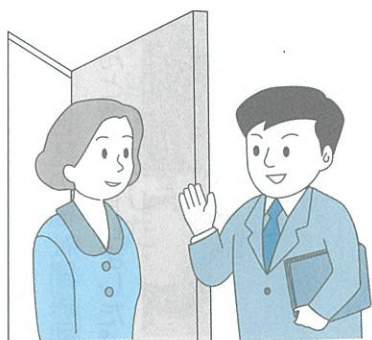
長野市生活就労支援センター「まいさぽ長野市」は生活困窮者自立支援法に基づき、市民の皆様から生活の困りごとや経済的なご相談等を幅広くお受けしています。令和4年度からは「長野市アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業」を長野市から受託し、社会福祉士資格を持つ専門の相談員2名を配置。長野市保健所健康課とともに、ひきこもりでお悩みのご本人、ご家族からの相談窓口として支援を強化しています。

## 「アウトリーチ」とは

「アウトリーチ」は「手を差し伸べること」と訳され、「援助が必要であるにもかかわらず、自発的に申し出をしない人々に対して、公共機関等が積極的に働きかけて支援の実現をめざすこと」です（『デジタル大辞林』小

学館）。

ひきこもり状態等の生活上の課題を抱え、支援が必要にもかかわらず自らSOSを発しないまたは発することが難しく、「社会的孤立」状態にある個人やご家族が地域にはおられません。時間とともに課題がより深刻化・複雑化する方々を早期に把握し、必要な情報やサービスを届けるために、相談支援機関には「待ち」の姿勢ではなく、訪問活動や情報提供を通じた積極的な「アウトリーチ」が求められています。



## 「ひきこもり」の実態

15歳～39歳の広義のひきこも

り数は54・1万人（平成27年度内閣府調査）、40歳～64歳では61・3万人（平成30年度内閣府調査）。長野県でも平成31年に県内の民生委員・児童委員を対象に調査を実施したところ、2290人が該当し、40歳以上が6割を超える結果となり、支援につなげていない実態が見えま

## 「まいさぽ長野市」の取組

「まいさぽ長野市」では支援につなぐりにくい個人やご家族とつながるために、ご本人やご家族ばかりでなく、民生委員・児童委員等の地域の支援者や専門の相談支援機関へ積極的に「アウトリーチ」を行います。

### 【事例①】

10年ほど引きこもっていた30代女性のご家族から「市報を見て知った」と相談がありました。まずはご家族からご本人の様子やご家族の心配事を伺い、手紙等を通じてご本人に我々を知っていただくことから始めました。その後、ご自宅への訪問を継続することで、ご本人ともお会い

することができました。現在も定期的にご自宅を訪問し、少しずつご自分の思いを話していただけるようになり、ご本人のペースに寄り添いながら社会参加に向けて一緒に考えています。

### 【事例②】

民生委員・児童委員から「親が亡くなってから一人で生活している50代男性がごみ屋敷にひきこもっていて心配」と相談がありました。民生委員・児童委員を通じて当機関への相談を勧め、民生委員・児童委員と一緒に自宅訪問。当初は相談に消極的でしたが、食糧支援等を通じて定期的に訪問するうちに少しずつ関係ができ、現在自立に向けた相談支援を継続しています。地域にひきこもり状態にある個人・ご家族や、社会的孤立状態にある方がおられましたら、「まいさぽ長野市」にご相談ください。

【お問い合わせ・ご相談先】

長野市生活就労支援センター

まいさぽ長野市

長野市大字鶴賀緑町1714-5

長野市ふれあい福祉センター2階

☎219-6880

# 『ゴミ出しから考える地域の支え』

## 住みやすい安茂里のために

皆さんは「ゴミの集積所までゴミを持っていけなくなったら」と考えたことはありますか？  
今は大丈夫!!という方も数年後には…?

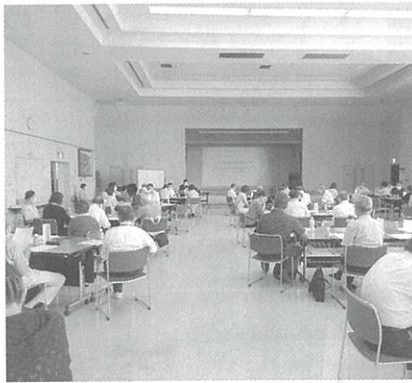
長野市地域包括支援センター安茂里では、地区の地域福祉活動計画や住民活動と連動する形で、高齢者の生活支援体制の構築推進のため、生活支援体制整備事業に取り組んでいます。

安茂里地区では「ゴミ出し」をテーマとして、地区のニーズや実情を把握していき、安茂里地区ネットワーク会議を開催しました。

## 地域の困りごとを話し合いました

令和4年8月31日に開催された安茂里地区ネットワーク会議で、日頃地域の高齢者支援をされているケアマネジャー、区長、民生委員・児童委員の皆様へ「ゴミ

出し」についてのアンケートを実施し、その結果から見えてきた現状を地区の福祉関係団体の皆さんと情報共有しました。



安茂里地区ネットワーク会議の様子

### ○地域の方の事例

・ゴミは台車に乗せて運んでいる。最近ゴミの集積所の場所が移動してしまい、以前より遠くなり大変になってしまった。  
・ビン等の重いゴミは一人で運べないため、捨てるのが難しい。  
・ヘルパーをお願いすると費用がかかるため高くて頼めない。

### ○ケアマネジャーの事例

・ゴミの収集時間がヘルパーの訪問より早いため、民生委員・児童委員にゴミ出しをお願いしている。

### ○区長の事例

・ゴミの不適切な出し方が多く、写真入りの回覧、掲示板にポスター掲出、各戸配布の会報等で注意喚起している。ルールを守ってもらうことが大切。

・ゴミ出しに困っている方が、SOSを出しやすい地区にしたい。

### ○民生委員・児童委員の事例

・有償ボランティアを利用するのは経済的に厳しい方がいる。  
・時々、「ゴミ出しますよ!」と声をかけている。近所の方とも協力して声掛けしていきたい。  
・足の不自由な独居高齢者がなんとかがゴミ出しをしているが、この先年齢を重ねていくことに不安の声が挙げられている。

## 『ゴミ出しから考える地域の支え』について話し合いました

### 「市民協働サポートセンター

まんまる」センター長阿部今日子氏を講師にお招きし、地域で行っている活動やこれからできることについてグループワークで話し合いました。

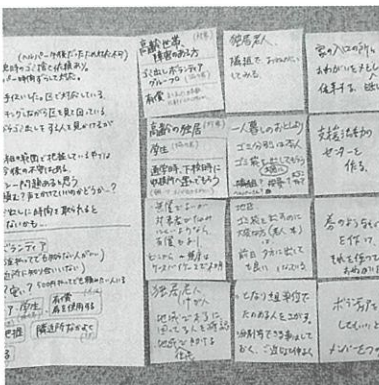
### ○出た意見

・一人暮らしの方の隣近所のコミュニケーションを増やし、支えあえるようにしたい。  
・中高生に力を借りて、回収してもらう仕組みはどうか?  
・スマホを使える高齢者や妊婦さんなどが対象の「ゴミ収集アプリ」を作ってみてはどうか?

### ○会議に参加してみたの感想

・グループワークで地域の実情、声が聞こえて良かった。  
・本日の研修で終わりにせず、話し合いを続けて実現させたい。

本会では地域にお住まいの方の協力を得ながら、「お互いさま」の気持ちで皆が支えあう、思いやりとやさしさを持った地域を目指すよう、今後も生活支援体制整備事業に取り組んでいきたいと思えます。



話し合いで出た意見

## 長野市生活支援。

### 地域ささえあいセンターのあゆみ

ささえあいセンターが令和5年3月31日で終了となりました。皆様ご協力・ご支援誠に有り難うございました。3年間のあゆみを振り返ります。



▲被災した方の自宅へ訪問

長野市から委託を受け事業を実施してきました。

被災した方の自宅へ生活支援相談員が訪問し、再建に向けての相談、日常生活に関する相談などを伺い、長野市や専門機関へつなぎ、連携して対応する見守り活動、地域住民と共にコミュニティの再生、地域課題の解決、サロンなどの地域支援を行ってきました。

### 地域と共に 取り組みました

被災後、空き地や耕作放棄地の草刈りが地域で問題になりました。そこで、住民有志による「長沼ワークライフ組合」を設立し、住民相互のたすけあい活動の仕組みも生まれてきました。

### ひとりひとりへの寄り添いを大切にしてみました

長野市生活支援・地域ささえあいセンターは令和元年東日本台風災害で被災した方を対象に、

### 新しい団地での生活が スタートしました

令和3年12月に入居を開始した市営住宅美濃和田団地は、災害公営住宅として建設されました。入居当初、入居者のみなさんから「誰が住んでいるのかわからない」、「住民同士の交流がなく人の気配を感じない」等の相談を受け、毎週火曜日に生活支援相談員が集会所に常駐し、相談、サロン活動を実施しました。集会所で何度か顔を合わせていくことで住民同士が顔見知りになり、ご近所同士の見守り活動にもつながっています。



▲ぬくぬく亭 お当番はボランティア

長野市生活支援・地域ささえあいセンターの活動は令和4年度でひと区切りになりますが、「まいさぼ長野市」で引き続き支援を続けてまいります。

相談先

社会福祉法人長野市社会福祉協議会  
まいさぼ長野市  
☎219-6880



▲美濃和田団地で表札づくり

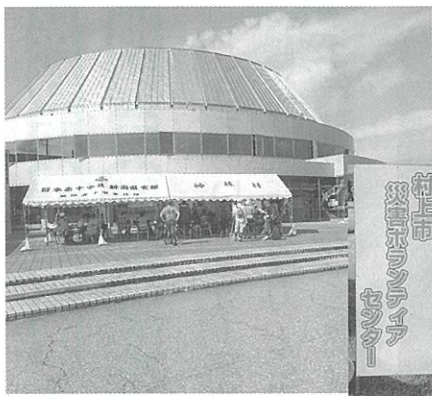
# 村上市での災害ボランティア活動の報告

## 令和4年8月豪雨災害

令和4年8月13日からの大雨により東日本各地で大きな災害が発生し、隣の新潟県でも床上浸水や土砂災害で甚大な被害が発生しました。

災害ボランティアセンターが開設されしばらくは、新型コロナウイルス感染症が危惧されてボランティアの募集は新潟県内に限定されていましたが、募集範囲を近接5県に広げたことを受け新潟県村上市へボランティア活動に行きました。

1回目の8月27日は本会職員4名で行き、9月9日の2回目



大勢のボランティアが集まっていました

はボランティアを募り17名で活動をしてきました。

村上市災害ボランティアセンターには近隣の企業をはじめ、隣県からのボランティアも来られていました。



オリエンテーションの様子

## オリエンテーションの大切さ

オリエンテーションは支援活動を行うにあたり、とても大切なことです。災害ボランティアセンターから被災状況や依頼者への支援内容等、また事故が起きた時の対応等も正確に伝えることで、安心してボランティア

活動ができるからです。被災者とのコミュニケーションもボランティア活動の一つです。いつもの風景が災害によって変わってしまい、落ち込んでいる方に少しでも元気になっていただけようようにコミュニケーションをとることが大切だと思います。

## 泥つてやっかい

個人宅の家周り、物置には大量の土砂やがれきが流れ込んでいました。ガスのパイプも半分以上泥で埋まって、大きな石もありました。

災害が起きてすぐには支援に入れません。しかし日が経つに



家周りの泥撤去作業

つれて泥は固まっています。ある地区の路肩の排水溝は、何キロにもわたって泥が溜まり水が流れない状態でした。



路肩排水溝の泥出し

私達が泥出しをしていたら「家のでいっばいで排水溝の泥出しができません、困っていました。助かります。」と家から出てきて、発災時の話もしてくれました。排水溝沿いの住宅は床上浸水だったそうです。排水溝に泥がある限り、水が流れずまた溢れてしまうかと心配されていました。活動を通して安心していただくことができました。



路肩排水溝の状況

# 長野市 社協の相談窓口

お困りの方どなたでもご利用いただけます。  
(ただし長野市在住の方に限ります。)

●相談は無料 秘密は厳守します

※祝・休日、年末年始(12月29日～翌年1月3日)、毎月第3日曜日はお休みです。

## こんな時はお電話ください。

### 生活が苦しい、就職がうまくいかない ☎219-6880 まいさぼ長野市



相談員と一緒に考えたり、現状を整理しながら、生活の立て直しや、困りごとの解決をお手伝いいたします。

- 経済的に困窮している方
- 引きこもりや孤立状態にある方
- 仕事に就けない方
- 困っているのに誰に相談して良いか分からない方 など

### 悩みや困りごとを聞いて欲しい ☎226-8200(本部:毎週火・金曜日) きぼう相談 ☎292-1151(篠ノ井:毎週月曜日)



相談員がじっくり話をお聞きし、必要な場合は様々な専門機関につながります。

- どこに相談して良いか分からない方
- 専門機関に相談するほどではないかもしれない…というような悩みをお持ちの方 など

### 成年後見制度について知りたい ☎225-0153 (信濃町、飯綱町、小川村の方もご利用頂けます。) 長野市成年後見支援センター



判断能力の不十分な方が安心して地域で生活を送れるように、後見人が資産の管理や契約の支援を行います。

- 家族や自身の今後に備えあらかじめ制度のことを知りたい方
- 「後見制度の活用が必要」と言われたが、どのように進めればよいのか知りたい方
- 家族の後見人になったが、活動上の不安がある方 など

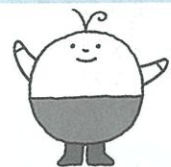
### 一人暮らしをしていて将来が不安だ ☎219-5115 「おひとりさま」あんしんサポート相談室



将来の不安や困り事について、あらかじめ備え不安を取り除けるよう、今のうちから一緒に考えるお手伝いをします。

- 一人暮らしで頼れる親族がおらず、もしもの時の不安や心配事がある方
- 身寄りがなく、将来の入院や万が一亡くなった後の手続きなどに不安がある方 など

### ボランティアをしたい、お願いしたい ☎227-3707 長野市ボランティアセンター



ボランティア活動や市民活動に関する様々な相談をお受けします。

- ボランティア活動してみたい方
- ボランティアの力を必要とする方
- 他のボランティアグループとつながりたい方 など

長野市ボランティアセンター  
公式LINEアカウント



### 地域の活動をどう進めてよいか分からない、知りたい ☎227-3030 地域福祉担当



各地区の福祉活動を進めるための支援をいたします。

- 地区地域福祉活動計画の策定…アドバイスから他地区の情報提供、策定に向けた支援を行います。
- 研修のお手伝い…福祉推進員研修をはじめとした研修に職員を講師として派遣します。
- 活動の助成…サロンや地域福祉大会など各地区の福祉活動を進めるための活動費の助成をいたします。

# 食品の寄付にご協力ください!!

まいさぽ長野市では、フードドライブを実施しています。  
集まった食糧は、まいさぽ長野市を通じて、困窮世帯へお渡ししています。

ご家庭に眠っている食糧がある方、余剰食糧がある方はぜひご寄付をお願いします。



## <令和4年度の実績>

(令和4年12月12日時点)



①寄付実績 645件・46団体 (延)  
70,463点  
3,778kg

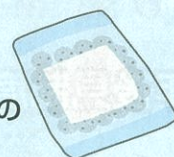
②支援実績 487件 (延)  
5,599点

## <ご寄付いただきたいもの>

缶詰・レトルト・カップ麺・菓子類・お米(粉可)等

※お米は前年度産までのものを受付けています。

- ・賞味期限が1ヵ月以上あるもの
- ・未開封のもの
- ・包装や外装が破損されていないもの
- ・常温保存できるもの



ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

## ◆【受付場所】 社会福祉法人長野市社会福祉協議会 “まいさぽ長野市”

〒380-0813 長野市大字鶴賀緑町 1714-5 長野市ふれあい福祉センター2階

受付日時：月～金（休日を除く）8:30～17:15

TEL：219-6880 FAX：219-6882

## 長野市社協「賛助会員」募集のお願い

充実した福祉活動をしていくためには、より多くの自主財源の確保が必要です。つきましては、広く個人、団体、企業等の皆様に賛助会費制度にご加入いただきますようお願い申し上げます。

年会費 個人賛助会費(1口) 5,000円

団体賛助会費(1口) 10,000円

◆入会についてのお問い合わせ先

総務課総務担当 電話 225-1234

## ふくしのイラスト大募集!

○福祉や家族、ボランティアをテーマにしたイラストを募集します。  
○ご応募いただいたイラストは次号ふくしながの表紙や本会ホームページに掲載させていただきます。掲載の際には氏名、年齢、お住まいの地区も併せて掲載いたします。氏名の掲載を望まない場合は、その旨と掲載時に表示するニックネームをご記載ください。

○イラストはハガキにお描きください。ハガキ以外のものにイラストをお描きになる場合は、封筒に入れてお送りください。

○イラストをお送りいただいた方の中から抽選により10名の方に「ふくしながのオリジナル図書カード」をプレゼントします。

○ハガキには氏名・住所・年齢を記載してください。

○その他本誌や本会についてのご意見等ございましたら左記までお送りください。

○締め切りは4月28日(金)です。

○送り先 〒380-0813

長野市大字鶴賀緑町1714-5

長野市社会福祉協議会「ふくしながのイラスト」係